

事業内容

1. 展示、学芸活動関係（報告期間：2015年4月1日～2016年3月31日）

(1) 「船の科学館別館展示場」の公開

「船の科学館別館展示場」については、2014年度に引き続き、日本の領海、排他的経済水域、いわゆる日本の海を海底地形図と共に紹介する「にっぽんの海」コーナー、海上自衛隊及び海上保安庁の艦艇を紹介した「海をまもる」コーナー、海洋の利用を紹介した「海をひらく」コーナー、他にも「海をわたる」、「船がはこぶ」、「日本海軍の艦船」等の展示コーナーを設けて、海と船について分かり易く展示・紹介した。

・2015年度の入場者数	87,683名 (前年対比+0.8%)
・公開日数	310日
・当館の休館日に伴う未公開日数	56日

(2) 「初代南極観測船“宗谷”」の一般公開

“宗谷”の乗船者数及び公開日数は、次のとおりであった。

・2015年度の乗船者数	78,695名 (前年対比+11.7%)
・公開日数	309日
・当館の休館日及び荒天に伴う未公開日数	57日

(3) 資料の受入

2015年度においては、次のとおり資料の受け入れを行った。

新山美奈氏：南極観測で使用した「ジュラルミン・ケース」 1点

(4) 資料の貸出

① 島根県立古代出雲歴史博物館

貸出資料：鎌倉時代の準構造船 模型

貸出期間：平成27年3月1日～5月23日

② 日本郵船歴史博物館

貸出資料：二式大型飛行艇精密解剖図他9点

貸出期間：平成27年3月5日～平成28年7月10日（予定）

③ 公益財団法人三笠保存会

貸出資料：船舶模型戦艦“三笠”他1点

貸出期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

④ 三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所

貸出資料：二式大型飛行艇火星22型エンジン2基

- 貸出期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日
- ⑤警視庁東京湾岸警察署
貸出資料：油彩絵画「八丈島神湊漁港」（額付）他2点
貸出期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日
- ⑥陸奥の会
貸出資料：船舶模型戦艦“陸奥”（アクリル製ケース付）
貸出期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日
- ⑦神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館
貸出資料：船舶模型「原子力船“むつ”（縮尺1/100）」（ガラスケース付）
貸出期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日
- ⑧NHK制作局 第1制作センター（文化・福祉）
貸出資料：“開南丸”模型（縮尺1/50）
貸出期間：平成27年4月23日～24日
- ⑨「北前船」展実行委員会（委員長：新潟県立歴史博物館長）
貸出資料：松前船船中議定覚（船中議定手檄書帳）嘉永6年
貸出期間：平成27年7月1日～11月30日
- ⑩一般財団法人 清水港湾博物館（フェルケール博物館）
貸出資料：弁才型船設計図 他27件49点
貸出期間：平成27年7月4日～9月18日
- ⑪第20回「海の日」記念特別展実行委員会
貸出資料：遣唐使船 模型（解説板付）他11点
貸出期間：平成27年7月15日～8月11日
- ⑫沖縄県立博物館・美術館指定管理者 文化の杜共同企業体
貸出資料：ヘルメット潜水機 潜水服 他6点
貸出期間：平成27年7月17日～9月9日
- ⑬国土交通省海事局総務課海事振興室
貸出資料：船舶比較模型“春日丸”（コンテナ船）他3点
貸出期間：平成27年7月28日～31日
- ⑭青函連絡船史料研究会
貸出資料：青函連絡船“羊蹄丸”航海日誌 他6点
貸出期間：平成27年8月1日～12日
- ⑮今治市教育委員会（今治市村上水軍博物館）
貸出資料：船舶模型 安宅型軍船（縮尺1/20）
貸出期間：平成27年9月8日～11月27日
- ⑯千葉県立関宿城博物館
貸出資料：船舶模型 弁財船

貸出期間：平成27年9月10日～12月18日

⑰茨城県立歴史館

貸出資料：船舶模型 “咸臨丸” (1/50) 他3点

貸出期間：平成27年10月1日～11月26日

⑱日本海洋学会教育問題研究会

貸出資料：「海と船の巡回展」：親子をさがせ、進化する船たち

貸出期間：平成27年11月14日～15日

⑲トーハツ株式会社

貸出資料：トーハツOB型船外機

貸出期間：平成27年11月19日～26日

⑳(株)ハセガワ

貸出資料：二式大型飛行艇 主翼外板(点検扉)他18点

貸出期間：平成27年12月10日～平成28年12月31日(予定)

㉑国立大学法人東京海洋大学附属図書館

貸出資料：雲鷹丸設計図面他22点

貸出期間：平成27年12月15日～平成28年3月11日

㉒発泡スチロール協会

貸出資料：南極「昭和基地」断熱パネル

貸出期間：平成28年1月22日～3月8日

㉓公益財団法人東日本鉄道文化財団 鉄道博物館

貸出資料：国鉄青函連絡船 寝台用毛布

貸出期間：平成28年2月19日～7月15日

㉔トーハツ株式会社

貸出資料：トーハツOB型船外機

貸出期間：平成28年2月25日～3月9日

㉕公益財団法人 竹中大工道具館

貸出資料：絵図 日本形北前船図他4点

貸出期間：平成28年3月19日～6月10日(予定)

(5)写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出を行った。

59件165点

(6)資料の借用

①東京国立博物館

借用資料：船舶模型“麒麟丸”他14点

借用期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

②鉄道博物館

借用資料：船舶模型 千石船(半割)他6点

借用期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

③(株)商船三井

借用資料：船舶模型“報国丸”他2点

借用期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

④山高 登氏

借用資料：黄海海戦で奮戦する“赤城”油彩画他30点

借用期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

⑤東京都産業労働局

借用資料：沖ノ鳥島紹介DVD「知っていますか？沖ノ鳥島の秘密」

借用期間：平成27年9月～平成28年3月31日

(7) 催事等の開催

①ボランティアの展示解説

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船“宗谷”について分かりやすく展示解説した。

開催期間：平成27年4月～11月

78回

開催場所：「船の科学館別館展示場」及び“宗谷”

活動人員：延べ162名

②企画展示「春 桜がにあら和船たち」

ボランティアの中山幸雄氏が制作した江戸の町並みや港に停泊する船の様子を同一縮尺で再現した「江戸湊」のジオラマ模型を展示し、同氏による解説を行った。

開催期間：平成27年5月3日～5日

3日間

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

入場者数：4,363名

③カヌー操船体験教室

カヌーの操船体験を通して、海と船への興味と関心を喚起するとともに、船舶の浮力や復元性などの特性を実体験の中から学んでもらう教室を開催した。

また、本年度から杉並海洋少年団による体験教室参加者へのライフジャケットの着用指導や操船方法指導補助、安全監視などを活動の一環として実施した。

開催期間：平成27年5月・6月・7月・9月・10月

5回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：296名

④セーリングカヌー乗船体験教室

プロセーラー西村一広氏を代表とするチームニシムラプロジェクト及び東京海洋大学ヨット部OBの協力を得て、セーリングカヌーの乗船体験教室及びスキルアップ講習会を行った。

開催期間：平成27年5月・7月・9月・10月

4回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：363名

⑤企画展示「和船・WASEN」

ボランティアの中山幸雄氏が制作した江戸の町並みや両国橋港に停泊する船の様子を同一縮尺で再現した「江戸湊」のジオラマ模型を展示し、同氏による解説を行った。

開催期間：平成27年7月18日～20日

3日間

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

入場者数：2,066名

⑥「海と船のおはなし会」

「海洋」をテーマとした絵本の読み聞かせを一般来館者向けに実施し、あわせて当館学芸員による「絵本」のテーマや別館展示場にある展示資料に関連した内容のミニギャラリートークを行った。

・開催日：平成27年5月3日

テーマ：「赤い灯台」

参加者数：55名

・開催日：平成27年7月20日

テーマ：「ふなひき太良」

参加者数：50名

・開催日：平成27年8月16日（海の学び舎・わくわくキッズパーク内）

テーマ：「ふなゆうれい」

参加者数：40名

・開催日：平成27年10月12日

テーマ：「ちいさな赤いとうだい」

参加者数：35名

・開催日：平成27年12月23日

テーマ：「いるかのジャック」

参加者数：14名

・開催日：平成28年3月20日

テーマ：「チムとうだいをまもる」

参加者数：28名

※参加者数合計 222名（全6回）

⑦海と船のコンサート「SOYA FES」

夕暮れ時の“宗谷”船尾甲板を舞台に海や船をテーマにしたミニコンサートを実施し、幅広い年齢層に向けた新たな試みとして、音楽を通して海に親しむ機

会を創出した。

開催日：平成27年9月23日

開催場所：初代南極観測船“宗谷”船尾甲板

参加者数：102名

(8)共催・後援・協力事業

「海」「船」「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力を行い、海事科学知識の普及、啓発に努めた。

①第6回青函連絡船講演会

開催期間：平成27年4月18日

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

主催：青函連絡船史料研究会

参加者数：80名

②特別展「和船と船大工 江戸時代以降の日本の船」における展示資料解説及びギャラリートークの実施

開催期間：平成27年7月4日

開催場所：清水港博物館（フェルケール博物館）

主催：一般社団法人清水港博物館

③「マリンチャレンジ」への参画

開催期間：平成27年7月11日～12日

開催場所：豊洲

主催：UMI協議会

④「第52回関東地区中学生海の絵画コンクール」入賞作品展示

開催期間：平成27年7月17日～26日

開催場所：横浜みなと博物館ロビー

主催：公益社団法人関東海事広報協会

⑤第20回「海の日」記念 特別展『日本全国、海、船、港の博物館大集合』実行委員会への委員として参画及び出展

開催期間：平成27年7月18日～8月9日

開催場所：横浜みなと博物館

主催：第20回「海の日」記念特別展実行委員会

⑥「第52回関東地区中学生海の絵画コンクール」特別賞以上の入賞作品展示

開催期間：平成27年7月30日～8月10日

開催場所：横浜第二合同庁舎1階ロビー

主催：公益社団法人関東海事広報協会

⑦東京湾環境一斉調査

（東京港再生推進会議モニタリング分科会、東京港岸自治体環境保全会議等）

開催期間：平成27年8月5日
開催場所：船の科学館“宗谷” 棧橋付近

⑧「夏休み東京港親子社会科見学会」

開催期間：平成27年8月6日
開催場所：船の科学館、青海客船ターミナル他
主 催：東京都港湾局
参加者数：298名

⑨第14回水ものフェスティバル in 船の科学館

開催期間：平成27年8月30日
開催場所：船の科学館 体験教室プール
主 催：水ものフェスティバル in 船の科学館実行委員会
参加者数：35名

⑩第6回坂東市サイエンスフェスティバルへの出展

開催期間：平成27年10月25日
開催場所：坂東市総合体育館
主 催：「サイエンスフェスティバル」実行委員会

⑪第7回青函連絡船講演会

開催期間：平成27年11月21日
開催場所：船の科学館本館1階ロビー
主 催：青函連絡船史料研究会
参加者数：60名

⑫第16回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール入賞作品等の展示

開催期間：平成27年11月4日～8日
開催場所：船の科学館別館展示場
主 催：海上保安庁
見学者数：1,395名

⑬第16回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール応募作品の展示

開催期間：平成28年1月6日～13日
開催場所：船の科学館本館1階ロビー
主 催：海上保安庁東京海上保安部
見学者数：1,621名

⑭ボートショー2016に係るUMI協議会ブースへの資料出展

開催期間：平成28年3月3日～6日
開催場所：パシフィコ横浜
主 催：一般社団法人 日本マリン事業協会

(9)海洋及び船舶に関する研究

博物館の展示や教育普及は、調査研究と常に表裏一体であることから、当館が展示や教育普及の対象としているわが国の海と船の文化について、研究者と連携を図り調査・研究を継続した。

2. 施設改修整備（報告期間：2015年4月1日～2016年3月31日）

(1) 駐車場料金精算機修理工事

経年劣化により破損した部品の交換修理を実施した。

(2) 空調機移設工事

別館展示場の空調機が経年劣化により故障、修理不能のため、現在使用していない空調機を移設した。

(3) 安乗崎灯台外壁等補修工事

経年劣化により傷みが著しい安乗崎灯台の外壁等の補修工事を実施した。

(4) 消防設備法定点検による不具合箇所修理工事

① 6月実施

- ・ 誘導灯等の点灯不良のため交換整備を実施した。
- ・ 法定年数を経過した消火器10本、消火栓ホース16本を交換した。

② 12月実施

- ・ 誘導灯等の点灯不良のため交換整備を実施した。
- ・ 自動火災報知設備感知感度不良のため交換整備を実施した。
- ・ 法定年数を経過した消火器20本を交換した。

(5) 消防署立入検査における指摘事項改修工事

- ・ 自動火災報知機設備増設
- ・ 法定年数を経過した消火栓ホース20本を交換した。

3. 広報関係（報告期間：2015年4月1日～2016年3月31日）

(1) 有料広告

①新聞、雑誌等による広告

1. 「海の日」関連名刺広告

発注先 (公財) 日本海事広報協会
(株) 日本海事新聞社

2. 年賀名刺等広告

発注先 (公財) 日本海事広報協会
(株) 日本海事新聞社

(一社) 東京都港湾振興協会

②看板の掲出による広告

1. 駅電飾看板掲出

掲出駅 「ゆりかもめ」船の科学館駅

発注先 JTBコミュニケーションズ

2. 道路誘導看板

掲出場所 港区(お台場地区国道) 2基

発注先 関東地方整備局

(2) パブリシティ活動による無料広報実績

①テレビ等による広報

1. フジテレビ「世界ベスト・オブ・映像ショー 頂上リサーチ」

5月2日放送 船の科学館紹介

2. ケーブルテレビ品川「商店街大好き」

6月1日放送 船の科学館紹介

3. 札幌テレビ放送「STV NEWS」

7月21日放送 初代南極観測船“宗谷”紹介

②新聞による広報

1. 日本海事新聞「海洋教育の実践支援 今年度18事業を決定」

平成27年7月1日 「海の企画展」決定事業紹介

2. 東京リビング「船の科学館セーリングカヌー乗船体験教室開催の紹介」

平成27年7月4日 セーリングカヌー乗船体験教室の紹介

3. 海上の友「船の科学館 全国の博物館に海の学びを支援」

平成27年7月20日 「海の企画展」、「海の博物館活動」、「海の学び調査・研究」決定事業紹介

4. 朝日新聞「初代南極観測船宗谷 小さな船 奇跡の航跡」

平成27年9月4日 初代南極観測船“宗谷”紹介

5. 日本海事新聞「船の科学館青函連絡船講演会開催 四半世紀前の往時振り返る…」

平成27年11月11日 青函連絡船講演会紹介

6. 日本海事新聞「船の科学館 海の学び事業を強化 博物館活動支援15件に」

平成27年11月18日 「海の企画展」、「海の博物館活動」、「海の学び調査・研究」決定事業紹介

③雑誌等による広報

1. セサミ7月号 株式会社朝日新聞出版発行

船の科学館紹介

2. まっふる家族でおでかけ夏号 昭文社発行
船の科学館、別館展示場、初代南極観測船“宗谷”、カヌー操船体験教室紹介
3. ロハスカフェ ARIAKE 通信第4号 株式会社木楽舎発行
船の科学館、初代南極観測船“宗谷”、安乗埼灯台、戦艦“陸奥”主砲、潜水艦“たんかい”、カヌー・セーリングカヌーの乗船体験教室紹介
4. ODAIBA Island MAP 臨海副都心まちづくり協議会発行
英語版・中国語版（簡体、繁体）・韓国語版 船の科学館紹介
5. Brisa ASA 豊洲発行
2015年6月21日号 船の科学館、カヌー・セーリングカヌー乗船体験教室紹介
2015年12月20日号 船の科学館、第6回海と船のおはなし会 絵本の読み聞かせ&ミニ・ギャラリートークの紹介
6. りんかいBreeze りんかいBreeze 編集室臨海副都心新聞販売株式会社発行
126号 船の科学館、カヌー・セーリングカヌー乗船体験教室紹介
127号 船の科学館、第3回海と船のおはなし会 絵本の読み聞かせ&ミニ・ギャラリートーク開催の紹介
132号 船の科学館、第6回海と船のおはなし会 絵本の読み聞かせ&ミニ・ギャラリートーク開催の紹介
7. ぐるなびレッツエンジョイ東京 東京ガイド秋号2015（英語、中国語対応）
東京メトロ、ぐるなび発行
船の科学館紹介
8. 東京シーサイドストーリー 産経新聞社発行
6月号 船の科学館紹介 カヌー・セーリングカヌー乗船体験教室紹介
8月号 船の科学館紹介 海の学び舎・わくわくキッズパーク紹介
9. AUTO CAMPER10月号 八重洲出版発行 船の科学館、カヌー・セーリングカヌー乗船体験教室紹介
10. まっふる東京ベストスポット 昭文社発行 船の科学館紹介
11. 大人の旅プレミアム TAC 出版発行 船の科学館紹介
12. 春夏秋冬ぴあ 2016-2017 首都圏版 ぴあ株式会社発行 船の科学館、カヌー・セーリングカヌー乗船体験教室の紹介
13. 品川 SOI Map 品川区文化スポーツ振興部文化観光課発行 船の科学館紹介
14. まっふる家族でおでかけ関東周辺 16-17 昭文社発行 船の科学館、別館展示場、カヌー・セーリングカヌー乗船体験教室紹介
15. 東京教育観光マップ 公益財団法人東京観光財団法人 TCVB 発行

船の科学館紹介

16. 楽々東京 株式会社 JTB パブリッシング発行 船の科学館紹介

17. るるぶこどもとあそぼ首都圏 株式会社 JTB パブリッシング発行
船の科学館紹介

18. &TRAVEL 東京 2017 朝日新聞出版発行 船の科学館紹介

④インターネットによる広報

海洋教育の情報発信を充実させるため、公式ホームページのリニューアルを実施し、当館で開催する体験学習等のイベント案内及び活動報告や海洋関連の情報をタイムリー更新するとともに、新たに SNS（ツイッター、フェイスブック）を活用した情報発信することで、海洋教育の実践内容を広く公開した。

4. 船の科学館将来計画の策定事業（報告期間：2015年4月1日～2016年3月31日）
財団が立地する臨海部の東京ベイゾーンにおいては東京オリンピック・パラリンピックの競技会場が多数計画され、また、船の科学館に至近の水面に、平成31年の供用開始を予定する新客船埠頭を建設する計画が東京都から発表されるなど、周辺地域の開発は著しく進捗することが予想される。それらを踏まえ、海洋立国日本を代表する海洋博物館の実現を目指し、将来に向けての新たな博物館構想の取り組みを継続するとともに、国家戦略特区や周辺地域の開発計画等の情報収集を行った。
5. 陸奥主砲移設（報告期間：2015年4月1日～2017年3月31日）
 - ・平成26年8月4日
「陸奥の会」より、「戦艦陸奥主砲」の横須賀への里帰り（譲渡）のお願い文書が提出された。
 - ・平成26年10月28日
（日海科振第34号）「陸奥の会」に対し、上記依頼に対する承諾書を提出。
 - ・平成27年7月22日
横須賀市と「戦艦陸奥主砲」の無償譲渡と移設に関して合意文書を取り交わした。
 - ・平成27年12月25日
横須賀市と、「戦艦陸奥主砲」に係る無償譲渡契約を締結。
 - ・平成28年8月17日
横須賀市より、「戦艦陸奥主砲」移転事業に関する協力の依頼文書が提出された。
 - ・平成28年8月24日
横須賀市に対し、移転事業費の一部9,100,000円を協力する承諾書を提出。
 - ・平成28年9月12日
横須賀市により、「戦艦陸奥主砲」の搬出が行われ、翌13日に同市ヴェルニー公園

に搬入された。

- ・平成28年3月24日
横須賀市に対し「戦艦陸奥主砲」移転事業の協力として9,100,000円を支払。
- ・平成28年3月25日
横須賀市により、同市ヴェルニー公園にて「戦艦陸奥主砲」の設置・公開披露式典が執り行われた。

6. 経費節減策（報告期間：2015年4月1日～2016年3月31日）

①看板、ポスター等の自主制作

敷地内に掲示する看板やイベント等告知ポスターなどを極力業者に発注せず、財団内にて制作している。

②外注印刷物版下の自主制作

印刷物を制作する場合、印刷に必要なデータは極力自主制作することにより校正作業の軽減を図るとともに、版下作成代等の印刷費用を削減している。

③小規模な修繕を職員で実施し経費の削減に努めた。

④電力の節減

地域冷暖房による空調を中止し、必要な箇所のみ市販のエアコンに切り替えた。
また、館内の照明は事務所等及び防犯上必要な箇所のみとしている。

⑤定期昇給を実施しなかった。

⑥出張に係る航空券の購入は早割り等の割引航空券を利用している。

⑦贈答用ビール券等金券の購入は単価が安い金券ショップから購入している。

⑧名刺の作成は業者への発注から、財団内で名刺作成ソフトにより各自作成することとした。

⑨金融機関との交渉により、各種手数料が減免された。

事業目標の達成状況（報告期間：2015年4月1日～2016年3月31日）

初代南極観測船“宗谷”、船の科学館別館展示場の公開及びカヌー体験教室等を開催するとともに、「海」や「船」及び「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力など行い、海事科学知識の普及啓発に努めた。

来館者については、船の科学館別館展示場入館者87,683人、“宗谷”乗船者78,695人であった。

将来計画に関しては、海洋立国日本を代表する海洋博物館の実現を目指し、将来に向けての新たな博物館構想の取り組みを継続するとともに、国家戦略特区や周辺地域の開発計画等の情報収集を行った。

